

技術シーズ開拓・経営人材マッチング事業 仕様書

1. 委託業務名

技術シーズ開拓・経営人材マッチング事業

2. 業務の目的

本業務では、下記 2 つの業務を実施することにより、東北発の研究開発型スタートアップの組成を目指す。

- ・東北大学等を中心として、事業化可能性が高い技術シーズを発掘する。
- ・発掘した技術シーズについて、経営人材とのマッチングや事業化に向けた伴走支援を行う。

3. 業務の内容

(1) キックオフイベントの開催

大学キャンパス内にて、研究者や支援者、起業候補人材向けにキックオフイベントを 2 回開催する。イベントの実施にあたっては大学関係者との調整や、企画、集客、会場の手配、登壇者の確保、当日の運営等を行う。

(2) 支援プログラムの運営

① 未開拓技術シーズの発掘および評価

東北大学等を中心としてヘルスケアやライフサイエンス等の大学が強みを有する研究分野の中から技術シーズを発掘し、それぞれ評価を行った上で、事業化可能性のある技術シーズを 30 個程度選定する。

※過去に GAP ファンドや AMED に申請した技術シーズはカウントせず未開拓のものに限る。

※宮城県内で条件が満たない場合は、委託者と協議の上、東北の他の大学、高専や企業の研究所、地域企業等のシーズ探索を行う。

② 研究者に対しての事業化提案

選定した 30 個程度の技術シーズに対して、研究者等へ事業化に向けた提案を行う。
提案後に事業化可能性等を勘案し、上位 10 者程度を選抜する。

③ 事業化に向けた伴走支援

事業化の了承を得た研究者に伴走支援を行い、経営人材とのマッチングや、補助金等外部資金の獲得に向けた申請サポート等の事業化に向けた支援を適宜行い、業務終了までに 3 者の起業もしくは起業準備状態を目指す。

(3) 実施拠点の確保

本業務の遂行にあたり、効果的に事業を実施できる拠点を確保すること。なお、実施拠点については、仙台市内に確保することを原則とするが、より効果的な支援が実施できると委託者が判断する場合は、首都圏等に拠点を設けることも差し支えない。

(4) 情報発信・広報

本プログラム全般の取り組みにかかる広報業務については、委託者と協議の上、広報戦略を策定し、実施すること。また、情報発信にあたっては、発信内容に関して事前に委託者と協議すること。

(5) アンケート等の実施

本プログラム参加者に対し、アンケートなどを実施し、業務の効果を把握し次回以降の業務改善に活かすように取り組むこと。

(6) 成果報告書の納品

本業務終了時には、(1)から(5)の実施結果等について報告するとともに、本業務によって得られた知見、ネットワーク、個々の連携先との連携内容などをまとめた報告書を作成して納品すること（ワードもしくはエクセルファイル、写真・映像データ等）。

(7) その他

- ア 本業務以外に委託者や関連団体が行う起業支援事業との連携を図るよう努めること。
- イ 個人情報、企業情報等の管理にあたっては、適切な情報セキュリティ・ポリシー及び情報管理体制を整備すること。
- ウ 本業務の公共性に鑑み、受託者は特定の企業への利益や便宜の供与を厳に慎み、透明性、公平性を確保して業務にあたること。
- エ 将来的な自走化に向けた地域の支援機関や首都圏等の企業、自治体、大学等との連携体制の強化に取り組むこと。

4. 委託料

委託料の上限額は 21,500,000 円（消費税及び地方消費税含む。）。

5. 委託期間

契約締結日から令和 8 年 3 月 27 日まで

6. その他留意事項

- (1) 本仕様書にないものは委託者及び受託者の協議により定める。
- (2) 受託者は、業務の内容及び範囲について委託者と十分打合せを行い、業務の目的を達成すること。
- (3) 受託者は、打合せの内容を記録し、随時、委託者へ提出すること。
- (4) 受託者は、業務の進捗状況に関して、随時委託者に報告するとともに、週次の定例ミーティング

にて協議、調整を行うこと。状況に応じて大学関係者を含めたミーティングを開催すること。

- (5) 受託者は、障害を理由とする差別の解消の推進に関する仙台市職員対応要領及び留意事項 (<http://www.city.sendai.jp/somu-jinji-jinji/shise/shokuin/jinji/shogai.html>) に準じて、合理的配慮の提供を行うものとする。